とかち新聞
主筆 松山明
(発行所) 北海道足寄町 とかち新聞社 電話5－2551番
毎句5の日発行 1カ月200円 1カ年前納の場合2,000円

矢野氏が現職を破る

本町長選 別

注目の本別町長選は、六日に告示、十三日に投票、即日開票の結果

矢野幸雄氏　三、六九〇票
水元孝夫氏　三、四三〇票
井出利一郎氏　一、八一二票

の票差で、新人の矢野氏が現職の水元氏を破って当選しました。

これによって三期、十二年間にわたる水元町政に終止符が打たれて、矢野町政のスタートが切られました

どの新聞も現職絶対有利の報道のなかでのこの番狂わせはどうだったのか－矢野氏の陣営では番狂わせでは無く、はじめから勝利は間違いないとの自信のほどを示していました。

四年前に賀陽覚子氏のキモ入りでおこなわれた、いわゆる六者会談で、水元氏は『首長というものは三期が限度で、私は年令的にも健康上からも四選には出馬しない』と言明して、町史はじめての無競走三選を実現したので、水元氏は賀陽氏に感謝して口約どおりに出所進退すべきだったし、一方、矢野氏側に対しては『そろそろ後継者を考えてほしい、矢野君がいいので水元氏が暮になり出馬するとの動きがあって両派のこれまで矢野氏を中心にした化の工作となったものの、話し合いでどちらかに一本その時点では矢野氏としてグループが昨年九月に水元氏の四選出馬は、年令や健康から多選はムリとしだけなく本人の意向をきいてみたければ－となったが、水元氏の側近であり矢野氏の上司でもあり町議会副議長の高木章氏から待つたがかかり、石山会長の話を聞いてみたけれども、